

科目名	関係行政論			担当教員	成田 絵吏
単位	1単位	講義区分	講義	ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	臨床心理士、公認心理師				
実務経験を生かした授業内容	臨床心理士、公認心理師としての勤務の経験を活かし、関係機関と連携した支援のあり方について講義する。				
到達目標及びテーマ	臨床援助サービスを管理・運営、援助サービスのシステムの視点から学習する。そして、教育関係機関、身体障害者施設、医療機関、精神保健施設、家庭裁判所、児童自立支援施設などにおける臨床行政の現状・実態と問題点について学習する。				
授業の概要	臨床行政の、特に教育機関、福祉機関、保健・医療機関、司法・矯正機関等の現状と問題点について、具体的事例から学習する。 【デジタル技術利用：①，⑧】				

授業計画	
第1回	法体系と公認心理師の理解
第2回	保健医療分野に関係する法律・制度
第3回	福祉分野に関係する法律・制度
第4回	教育分野に関係する法律・制度
第5回	司法・犯罪分野に関係する法律・制度
第6回	産業・労働分野に関係する法律・制度
第7回	その他の心理的支援に関わる法律・制度
第8回	授業全体の総括および学習到達度の確認試験

事前学修		次回の講義内容をめぐって知っていること、イメージをまとめ、書籍やインターネットなどを用いて調べる。また、講義前に資料がある場合はそれを熟読する。
事後学修		講義の内容をふりかえり、重要点や自分の考えをまとめる。自分が疑問や関心を持ったキーワードなどを調べて理解を広げる。
フィードバックの方法	講義内容や小課題（毎回講義終了時に提出するふりかえりシート等）について、希望があればフィードバックの機会を設ける。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価		100%	講義内に課す小課題等への取り組み(20%)、確認テスト(80%)
定期試験		0%	実施しない
補足事項	・本授業は前期の前半8週に開講する。（システム上の制約より「隔週偶数」開講と表示されている可能性があるが、間違えないように注意する） ・全8回の授業である。授業欠席の回数が全授業数（8回）に対して3分の1を超えないことを注意する。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
教科書は使用しない。資料を適宜配布する。	なし	なし	なし	なし
参考資料	必要に応じて適宜紹介する。			